

平成 27 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 ケ ネ デ ィ ク ス 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 宮 島 大 祐
(コード番号:4321 東証一部)
問 い 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 部 長 田 島 正 彦
電 話 番 号 (03)5623-8400

長期ビジョン及び中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2013 年 2 月に公表した中期経営計画を 2014 年 12 月期に 1 年前倒して達成したことで、新たな成長ステージへの移行を実現しました。

当社は、本年 4 月に創立 20 周年を迎えるにあたり、新たにミッションステートメントを掲げました。更に、10 年先を見据えた長期的な経営の方向性としての「Kenedix Vision 2025」及び、本ビジョンに向けた最初の 3 年間(2015～2017 年度)の中期経営計画「Partners in Growth 2017」を策定しました。

記

1. ミッションステートメント

「ケネディクスは不動産の限りなき可能性を切り拓きます」

2. Kenedix Vision 2025

「ケネディクスモデルで成長」

10 年後イメージ: 受託資産残高(AUM)4 兆円、グループ時価総額 2 兆円、ROE15%

・グループ時価総額には、当社がメインスポンサーとなる REIT の時価総額を含みます。

3. Partners in Growth 2017(新中期経営計画)

A. 基本方針

- (1) アセットマネジメント事業を中心とする安定収益の成長
- (2) 共同投資を中心とする不動産投資事業の推進
- (3) 財務の健全性と株主還元の最適なバランスの追求

B. 定量計画(連結)

	目標数値
安定収益の成長	ベース利益*1: 40 億円 (2017 年 12 月期)
資本効率の向上	3 年平均 ROE*2: 8.0%

*1: ベース利益は、アセットマネジメント事業及び不動産関連事業の営業総利益の合計から

販売費及び一般管理費を控除したもの。

なお、2015 年 12 月期より、事業セグメントの変更を予定しています。詳細は 2015 年 2 月 10 日付「2014 年 12 月期決算説明資料」をご参照下さい。

*2: 3 年平均 ROE は、当期純利益を自己資本(期初・期末平均)で除した各年度 ROE の平均

上記*1 および*2 の目標数値算定にあたり、企業買収等にとまなう「のれん」の影響を除外

C. 重点施策

(1) アセットマネジメント事業を中心とする安定収益の成長

下記施策により、アセットマネジメント事業を中心に収益基盤を強化する。

- 高い運用力に基づく多様な受託資産残高(AUM)の成長
- ヘルスケア分野やインフラ分野等、新たな対象資産への取組み
- ノンアセットの不動産関連サービス拡大と受託資産の価値向上に繋がるサービスの提供
- 投資家の開拓や海外不動産投資等、海外展開の推進
- 運用力とサービスの質向上の基本となる事務管理体制の更なる強化

(2) 共同投資を中心とする不動産投資事業の推進

既存案件からの回収と新規投資のバランスを保ち、投資リターン確保と事業の成長促進を意識した投資ポートフォリオの運用を行う。

- 顧客投資家との共同投資の推進
- 当社ビジネスの成長に資する投資の推進(商業施設及びヘルスケア施設への重点投資等)
- 投資ポートフォリオのモニタリングとリスク管理の強化
- 市場の変化を先取りした資金アロケーション

(3) 財務の健全性と株主還元の最適なバランスの追求

不動産市場サイクルを踏まえ、財務健全性、資本効率及び株主還元の最適なバランスを追求する。

- 単体有利子負債水準の健全なコントロール
- 不動産投資と自己資本の健全なバランスの確保
- ベース利益に基づく配当の継続
- 機動的な株主還元に向けた内部留保の充実

以上